

H25.8.1

JEMA 総括管理士会・技術部会・安全衛生部会 合同意見交換会講演  
「ディスポーザ（DSP）と下水道」

昨年（2023年）の8月1日に清水治会長が（一社）環境衛生施設維持管理業協会が主催した「総括管理士会・技術部会・安全衛生部会 合同意見交換会」で聴講生 124 人を前に講演されました。

演題は「ディスポーザ（DSP）と下水道」でした。DSP 処理とは DSP を各家庭の流しに取り付け、生ごみ（厨芥）を粉碎し下水道で処理するものです。ごみ焼却炉との関係や各家庭への影響、下水道管渠・処理施設への影響などを多くのデータを基に解説して頂き DSP を身近に感じることができました。

DSP 普及率は、DSP 先進国の米国で約 50%、日本で約 3%です。日本の普及率はかなり低い状態です。一般的に、衛生一番と理解しながらも排水管の詰りや電気料金・イニシャルコスト増に目が行き普及が進んでいません。DSP を普及させるには、家事に従事している女性への啓蒙が必要とまとめられた。

記 : 岡田

